

市の組織と庁舎執務室の配置を一部変更します

◎問い合わせ
本庁行政経営室（☎ 34-2225）

市では、4月から行政組織の一部を再編します。広報おうしゅう2月号でお知らせした「健康こども部の新設」に続き、今回はその他の組織の新設・廃止・変更と、庁舎執務室の配置などをお知らせします。

【新設する部署】

- 総務企画部都市プロモーション課（本庁4階）
市の魅力を効果的に内外に発信し、奥州ファンの獲得や交流人口の増加を目指す都市プロモーションの取り組みを強化します。ふるさと納税、移住・定住促進、広聴広報事務などを担当します。
- 総務企画部政策企画課公共交通対策室（本庁4階）
各種まちづくり施策との総合的な調整を図りながら、本年度策定した第3次市バス交通計画に基づく、地区内交通導入の具体化などの公共交通対策に取り組みます。
- 市民環境部市民課マイナンバーカード推進室（本庁1階）
マイナポイントによる消費活性化策や健康保険証利用などが進むマイナンバーカードについて、多くの市民が利活用するよう交付を推進します。

【廃止する部署】

- 総務企画部元気戦略室
これまで市のさまざまな特定課題を所管していた元気戦略室を廃止し、その業務を関連性の強い部署に移管することで、効率的な行政運営を図ります。

※「ふるさと納税」「移住・定住促進」⇒都市プロモーション課、「公共交通対策」⇒公共交通対策室、「空き家バンク」⇒空家対策室、「子どもの権利」⇒こども家庭課、カヌージャパンカップの開催など「カヌー振興」⇒生涯学習スポーツ課

■上下水道部経営課下水道法適化準備室

公共下水道事業と農業集落排水事業に地方公営企業法を適用する準備のため設置していましたが、4月からの公営企業会計移行に伴い廃止します。

【変更する部署】

- 財務部行政経営室（本庁3階）
財政部門、市有財産管理部門との連携を強化するため、総務企画部から財務部に移管します。「行政経営改革プラン」「財政計画」「公共施設などの総合的管理の確立」と連動することで、財政健全化に向けた取り組みの進捗管理の徹底を図ります。
- 福祉部地域医療介護推進室（本庁2階）
「地域包括ケア推進室」と「地域医療推進室」を統合し、在宅医療・介護の連携と地域医療の推進を図ります。

●市役所本庁（水沢総合支所）執務室の配置

階	部署 ※赤字が変更部署
6階	議会事務局
5階	商工観光部 商業観光課、企業振興課（企業支援室）
	農林部 農政課、農地林務課（農村保全推進室）、 食農連携推進室
	水沢総合支所事務局（都市整備担当） 農業委員会事務局 監査委員事務局
4階	総務企画部 政策企画課（人口プロジェクト推進室、 公共交通対策室 ）、総務課（情報政策室）、 都市プロモーション課 、ILC推進室 水沢総合支所事務局（協働まちづくり担当） 選挙管理委員会事務局
	3階
2階	市民環境部 生活環境課（空家対策室）、危機管理課
	福祉部 福祉課、長寿社会課、 地域医療介護推進室 、地域包括支援センター
	健康こども部 こども家庭課、健康増進課、 保育こども園課 、子育て世代包括支援センター
1階	市民環境部 市民課（総合相談室、 マイナンバーカード推進室 ）、会計課

※財産運用課の販売推進係は1階から3階へ移転

●組織再編に伴う部署のダイヤルイン（直通電話）

部	課室	係等	電話
	政策企画課	公共交通対策室	34-2383
総務企画部	都市プロモーション課	広聴広報係	34-2126
		ふるさと交流係	34-2116
財務部	行政経営室		34-2225
市民環境部	市民課	マイナンバーカード推進室	34-2223
福祉部	福祉課	障がい者支援係	34-2325
		障がいサービス給付係	34-2172
	地域医療介護推進室	地域包括ケア担当	34-2906
地域医療担当		34-2908	
健康こども部	健康増進課	予防接種係	34-2905
		親子みらい係・子育て世代包括支援センター（プチベベ）	34-2171
	保育こども園課	幼保支援係	34-1634
施設再編整備係		34-1635	
上下水道部	経営課	経営係	34-1516
		会計係	34-1517
		管理係	34-1518

※全ての部署の番号は市ホームページをご覧ください

全国ランニング大会 100 撰に2年連続選出

2020 スポニチ いわて奥州きらめきマラソン

5,900 人を超えるランナーが集結！

第4回となる今回のきらめきマラソンに、全国46都道府県から5,900人を超える申し込みをいただきました。現在、このランナーをサポートする大会運営ボランティアが不足しています。大会史上最高のおもてなしを届けるため、皆さんの力をお貸しください。

■問い合わせ＝いわて奥州きらめきマラソン実行委員会事務局（江刺総合支所内・☎ 34-2498）

あと250人！ 大会運営ボランティア募集中

- 募集期間 3月31日☎まで
- 対象 2020年度時点で中学生以上の個人または団体
- 活動内容 給水所での活動、参加賞の配布、会場サービスなど
- 活動日時 5月17日☎午前7時～午後4時（係によって時間が異なります）
- 応募方法 大会ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入し、メール、ファクス、郵送のいずれかで提出
- その他
 - ・市特産品をモチーフにした記念オリジナルTシャツをプレゼント
 - ・5月上旬に事前説明会を開催します（詳細は後日お知らせ）
 - ・大会当日は、集合場所に各自でお集まりください

5,951 人がエントリー

フルマラソン	3,398人
10km	1,291人
2km(個人)	424人
2km(ペア)	838人

※上記はすべて速報値



いわて奥州きらめきマラソン第4回大会は5月17日☎開催です



最新情報はこちらから ⇒ 大会HPアドレス <https://oshukirameki.jp>

きらめきマラソン

検索

奥州市生母地区・一関市舞川地区・平泉町長島地区

東稲山麓地域の「世界農業遺産」「日本農業遺産」の認定に向けて

Vol.12

東稲山麓地域の世界農業遺産・日本農業遺産認定に向けた取り組みや地域の活動などを紹介します。

■問い合わせ＝本庁農地林務課農村保全推進室（☎ 34-1764）

シンポジウムを開催しました

2月15日、平泉ホテル武蔵坊で「東稲山麓地域世界農業遺産シンポジウム」を開催しました。認定に向けた取り組みを紹介し、理解を深めることが目的で、110人に参加いただきました。

講演では、平成28年に世界農業遺産に認定されている宮城県大崎地域から、認定までの取り組みと認定後の地域保全活動を紹介。認定をきっかけに、地域の人たちが地域の価値を再発見することで、地域が活性化する一方、屋敷林の維持など課題があるといった、当地域でも今後の参考になる内容でした。発表では、県立大学による現地調査を通じた東稲山麓地域の特

徴と、東稲山麓地域3市町物産販売促進委員会の取り組みについて説明がありました。

シンポジウム終了後は、同会場で3市町の4組織（団体）による特産品の販売が行われ、完売になった商品が出るなど大盛況に終わりました。

協議会では、今後も関係者・団体と協議を重ね、さまざまな意見を取り入れながら、認定申請書がより充実した内容となるよう取り組んでいきます。



希望の ひかり

第76回

国際リニアコライダー（ILC）計画の各種最新情報をお届けします

日本時間の2月21日、国際将来加速器委員会（ICFA）が米カリフォルニア州のSLAC国立加速器研究所でILCに関する国際会議を開催しました。会議で文部科学省は、昨年3月以来となる政府見解を表明しました。

その内容は、日本学術会議での議論や、ヨーロッパ各国（ドイツ・フランス・イギリス）やアメリカとの意見交換が進められている状況などです。文部科学省は引き続き米欧との意見交換を実施すると期待されます。

文部科学省は、昨年3月に示したILC計画に関する見

文部科学省の説明の概要

文部科学省は、昨年3月に示したILC計画に関する見

解に沿って次のとおり対応している。

(1) 国内の検討状況
・ 日本学術会議のマスタープラン2020において、ILC計画は重点大型研究計画のヒアリング対象計画になったため、ロードマップの審査の対象となる。

(2) 欧州の検討状況
・ 次期欧州素粒子物理戦略に向けて、さまざまな電子・陽電子衝突型加速器の選択肢について議論が行われていると承知している。

(3) 国際的な意見交換
・ 米国からは、日本がILC計画をホストする場合には支持することなどのコメントがあったが、現時点で具体的な貢献の表明はなく、米国内で

のさらなる検討が必要であると承知している。

・ 欧州については、2月に独仏英との4者での意見交換を初めて実施した。独仏英からは、現時点でILC計画に参加する資金的な余力はないとのコメントがあった。

(4) まとめ
・ 巨額の経費を要するILC計画は、技術的成立性や国際的な分担を含むさまざまな課題が解決され、国内外の幅広い協力を得られることが必要である。文部科学省は引き続き、昨年3月に示した見解に沿って、素粒子物理学における一定の学術的意義などにも鑑み、関心を持って米欧との意見交換を実施する。

ILC推進モデル校の 成果交流会

2月19日、ILC推進モデル校による「未来のILCを担う人材育成事業成果交流会」が県庁で開催されました。ILC推進モデル校は、幅広い分野で活躍できる人材の育成などを目的としたものです。現在、8県立高校が県から指

定されています。成果交流会には、水沢高校や水沢工業高校などから約70人が参加し、生徒たちがILCへの取り組みの成果を発表しました。

★水沢工業高校の発表

このうち、水沢工業高校は「ILCを知る・伝える・支える」をテーマに、誘致がもたらす影響や変化の可能性を考え、情報を発信し、誘致活動の活性化に取り組みました。具体的には、1年生が盛岡市の岩手ILC連携室オープンラボを見学し、ILCについて理解を深めました。2年生は茨城県つくば市を訪問し、高エネルギー加速器研究機構（KEK）を見学したほか、つくば市の街並みを分析して、未来の奥州市の可能性を探りました。

こうした活動の成果は、たくさんの方が訪れる文化祭で紹介されました。1年生は、学んだことを楽しみながら分かりやすく伝えるため、ILC情報をクイズ形式で展示。2年生は、来場者が奥州市の未来を考えるきっかけとなるように、調査したつくば市の航空写真や人口の変化などを

まとめて展示しました。さらに、奥州市の未来を考え、交通、職業など4つの分野で自分たちが考えたアイデアも展示し、来場者からもアイデアを募集しました。集まったアイデアを基に、来年度は模型を作製したいと語りました。まとめでは「本年度の活動で、ILCが実現した場合の可能性について、イメージを持つことができたら、来年度はさらに多くの人に伝えられるよう工夫を重ね、誘致活動に貢献していきたい」と意気込みを語りました。



ILCの取り組みを発表する水沢工業高校の生徒たち

地域おこし協力タイムス

現在市で活動している地域おこし協力隊の隊員が交替でお届けします。最終回となる第13回は「食の黄金文化・奥州輝かせ隊」の高橋史江さんです。

輝かせ隊の高橋です。今年は記録的な暖冬となり、農業への影響がかなり心配です。7月からは一部を除き小売店でのレジ袋有料化も始まるということで、私たち一人一人が環境のことを意識しなければと感じています。

エキスポ

2月19、20日に大阪で「アグリフードEXPO大阪2020」という国内農産物の商談会が開催されました。市からは、リンゴチップスのヨンボファクトリーさん、リンゴジュース&ジュレのおざまさ正りんご園さんが初出展しましたが、来場者の反応は想像以上！チップスもジュースも無添加で素材そのままの味ということもあってか「リンゴだけでこんなに甘いのか？」「品種によって味が全然違う！」と多くの人が驚いていました。「関西ではまだまだなじみの薄い果物なのか」と今後の販路拡大に期待が持てる催しでした。

2月22日には、第8回食の黄金文化・奥州料理コンクールが開催され、水沢第一高等学校での最終審査会と、プラザイン水沢での表彰式&試食会に、スタッフとして参加しました。今年の料理テーマは「奥州市産の牛肉とピーマンを使った『元気が出る』レシ

ピ』。最終選考に残った10人のうち7人が北海道や三重県、兵庫県と遠方から参戦した人たちですが、岩手の食材や郷土料理を調べてメニューに生かしていました。賞を取ることも重要ですが、その土地の食文化や素材を活かすメニューを考えることにも大きな意義があったと感じた一日でした。



料理コンクール試食会では、私が制作した、農家さんのインタビュー動画を上映しました

地域おこし協力タイムスは今月号で終了します。今後の隊員の活動はそれぞれのSNSをご覧ください。



- ① 輝かせ隊・フェイスブック
- ② 同インスタグラム
- ③ Walk on Soil・フェイスブック
- ④ カヌー普及推進員・フェイスブック



日差しがうららかに、春の到来を感じられるようになりました。いかがお過ごしですか。

2月15日、全日本農はだてのつどいが開催されました。今年は暖冬で雪不足の影響もあり、残念ながらメイン行事である福俵引きが中止となりましたが、庭田植えなどの行事は実施され、皆さんと豊作を願いました。条件の整わない中、ご尽力いただいた関係者の皆さんに感謝いたします。同日、市教育委員会表彰式に出席しました。学芸・スポーツ活動で優秀な成績を収めた児童生徒が表彰され、ユース五輪アイスホッケー競技で金メダルを獲得した水沢中の福田奈生さんも特別表彰を受賞しました。それぞれの夢や目標に向かって、さらに飛躍してほしいと思います。

2月22日、協働のまちづくりフォーラムを開催しました。協働のまちづくりアカデミーの受講生が、地域課題の解決に向け実践活動に取り組んできた成果を発表しました。受講生には、このアカデミーで学んだことを生かし、今後のまちづくりにお力添えをいただければと思います。

同日、食の黄金文化・奥州料理コンクールが開催されました。市内高校生ら若手の料理人が参加し、牛肉・ピーマンなど市産の食材を使った料理で腕を競いました。試食会では、最終審査に残った10人の趣向を凝らした料理をいただきました。参加者の皆さんには、この経験を糧に、今後も皆さんを積んでいただきたいと思います。

先月は、奥州市民文士劇、奥州前沢劇場、奥州胆沢劇場が上演され、多くの観客を魅了しました。スタッフ、キャストなど多くの関係者の皆さんが、ワンチームになって取り組んだ結果だと思えます。ありがとうございます。

奥州市長 小沢昌記

2月1日

千田ケヨさん 100歳
(水沢南町)

冒寿



胆沢南都田で生まれ、19歳で故・祐吉さんと結婚。2男2女をもうけ、孫9人、ひ孫9人、やしやご1人に恵まれています。長寿の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べ、間食を取らないこと。お祝いに集まった家族や入所施設の職員、利用者からの祝福を受け、ケヨさんは「ありがとう」と涙を流しながら感謝を伝えました。

2月2日

高橋幸吉さん 100歳
(衣川野崎)

冒寿

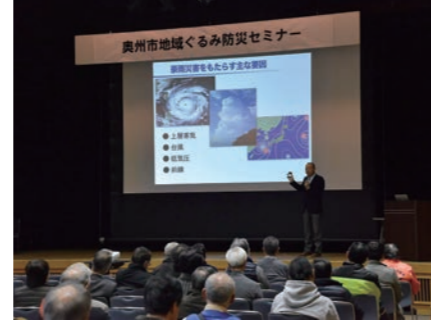


衣川下大森で生まれ、故・高橋イツ子さんと結婚。3男1女をもうけ、孫12人、ひ孫10人に恵まれています。体を動かすことが長生きの秘訣と語る幸吉さん。今でも牛の世話や草取り、毎日の散歩を行っているそうです。祝う会では、用意された誕生日ケーキの火を一息で吹き消し、元気な姿を家族に見せていました。

2月2日

情報を利活用し、
災害から命を守る

市政



市は、地域ぐるみ防災セミナーを江刺総合支所で開催し、市民や防災関係者ら約150人が参加しました。講演では、気象予報士の和田幸一郎さんが、台風などの災害が発生した場合の気象情報の活用方法などを分かりやすく説明。早速スマートフォンを手に取り、災害に備え確認する参加者の姿も見られました。

2月22日

協働への理解を深め
よりよい奥州市を目指す

市政



奥州市民憲章推進大会協働のまちづくりフォーラムが胆江地区勤労者教育文化センターで開催されました。第6期協働のまちづくりアカデミー受講生が成果発表を行ったほか、地区先進事例の発表や岩手大学農学部 の広田純一教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションが行われ、協働への意識を高めました。

2月22日

市産食材を使い
若きシェフが腕を競う

イベント



市産食材のPRなどを目的に開催している「食の黄金文化・奥州 料理コンクール」の最終審査が水沢第一高校で行われました。テーマは牛肉とピーマンを使った「元気が出るレシピ」。書類審査を通過した県内外の高校生や若手料理人10人が出場し、同校1年の高橋青那さんが優秀賞を受賞しました。

2月22日

上姉体幼稚園が
62年の歴史に幕

市政



園児の減少により本年度末で閉園する上姉体幼稚園の閉園式が、市内ホテルで開かれました。関係者の挨拶やDVDの上映、園旗返納などが行われ、62年の歴史に幕を下ろしました。DVDの上映では、同園を訪れた卒業生たちが当時を懐かしみ、感謝する様子が映し出され、出席者の中には涙ぐむ姿も見られました。

2月2日～14日

台湾での芸術交流を報告

イベント



北股地区振興会と北股会は、地元の画家・加瀬薫さん(39)を応援する絵画展を市まちなか交流館で開きました。5日には、加瀬さんが昨年末に台湾の芸術家イベントに参加した様子などを、同行した地域おこし協力隊の陳平芸さんが紹介。説明のリズムに合わせて加瀬さんが絵を描き、集まった観衆の目を引きました。

2月16日

チームワークで
勝利を引っ張れ

イベント



市民体育祭綱引競技が江刺西体育館で開催されました。今年は、初めて高校生チームのエントリーもあり、熱戦が繰り広げられました。競技を終えた奥州ラグビースクールの荒井柊人さん(水沢小5年)は「綱引きはチームワークが大切。ラグビーの試合でもチームワークを生かして頑張りたい」と語っていました。

2月20日

ユースオリンピック
冬季大会金メダルを報告

イベント



1月に行われたユースオリンピック冬季競技大会にアイスホッケー女子日本代表選手として参加し、金メダルを獲得した福田奈生さん(水沢中2年)が小沢昌記市長を表敬訪問しました。福田さんは「金メダルの重みを感じた。2年後の北京五輪は難しいが、その次の五輪には確実に出場したい」と熱く語りました。

2月22日

猫ノ図書館3周年で
図書館に活気

イベント



胆沢図書館の猫本コーナー「猫ノ図書館」が猫の日に3周年を迎え、記念セレモニーが行われました。たくさんの来館者が見守る中、ねこ館長の「むぎ」に辞書書が手渡されたほか、記念グッズのブックカバーや猫みくじも披露。イベントなども同時に開催され、胆沢図書館は活気に満ちあふれていました。

2月27日

菊池トシ子さん 100歳
(江刺藤里)

冒寿



江刺藤里で生まれ、25歳で故・由太郎さんと結婚。2女をもうけ、孫4人、ひ孫4人に恵まれています。働き者だったトシ子さんは、子育てをしながら由太郎さんと二人で一生懸命に働き、田畑を増やして蔵を立てたそうです。現在は家族に囲まれて幸せに暮らしており、ひ孫たちと過ごすことが一番の楽しみです。

2月28日～3月3日

城下町水沢に
くくり雛が春を告げる

イベント



くくり雛まつりがメイプルをメイン会場に水沢地域の13会場で開催されました。江戸時代中期が起源とされるくくり雛は「押し絵」の技法で作られた雛人形のことです。水沢地方独特の呼び名です。会場では、色鮮やかなくくり雛がひな壇に並んで展示され、訪れた来場者の目を楽しませていました。

江刺東中学校

生徒数 93人
所在地 奥州市江刺玉里字後沢 76-1 ☎ 36-2123



創立40周年を祝って行われた記念式典

江刺東中学校は、江刺地域の中心である岩谷堂から北東へ車で約15分の距離にある中学校です。学区の面積は江刺地域の約40%を占めています。昭和53年に玉里、梁川、米里、木細工、広瀬の五つの中学校が統合し、江刺東中学校が誕生しました。

昨年度は、多くの来賓、教職員OBの皆さまにご臨席をいただき、創立40周年記念式典と祝賀会を開催しました。不來方高校音楽部に本校の卒業生が在籍していたこともあり、記念事業として同校音楽部のコンサートを企画しました。当日は、音楽部の皆さんの心に響く歌声に魅せられた感動的なコンサートとなり、40周年に花を添えていただきました。

生徒は、保護者や地域の皆さまの多方面にわたる温かいご支援をいただきながら、意欲的に学校生活を送っています。部活動では、部員数が少ない部も

ありますが、コーチや保護者に支えられて懸命に練習に励み、各種大会で活躍しています。特に、男子バレー部は本年度の県新人大会で準優勝と輝かしい成績を残しました。江刺東中学校では、生徒一人一人が学習・部活動・地域ボランティアなどに、積極的に取り組んでいます。



輝かしい成績を残した男子バレー部

総合的な学習の時間

本校では「人間としてのあり方や生き方を探究する」をテーマに、総合的な学習の時間に力を入れています。本年度は、先生方を対象とした総合学習の東北大会で学校公開を行い、生徒が活動を発表しました。

総合学習の時間には、生徒同士での話し合いや、さまざまな分野の方を講師とした職業講話を行っています。また、施設見学を通じて関係者の話を聞いたり、さまざまなことを体験したりすることで、自分の生き方や職業選択について考えを深めています。

昨年度は「地域活性化」をテーマに取り組んだ3年生が、江刺りんごを使用した菓子を作り、カワトク前などで販売しました。生徒たちは、地域の抱える問題について真剣に考え、自分たちができることを実践しています。



総合学習の取り組みを発表しました

学校通信

特産品グルメラリーを体験



店舗で熱心に話を聞く生徒たち

今年2月、総合的な学習の時間の活動で、3年生が「江刺牛&江刺りんごグルメラリー」に参加している飲食店や主催の方を訪問しました。各店舗などを訪問した生徒たちは、試食や対話を通して江刺を盛り上げたいという多くの強い思いに触れてきました。

本校では、さまざまな取り組みを通して、今後訪れるであろう急速な社会変化に対応できる生徒個々の資質・能力の育成を目指しています。

地域のために合唱を披露

本校には希望者のボランティアで構成される「合唱推進委員会」があります。毎年、地区の演芸会やデイサービスセンターの夏祭りなどで、合唱を披露しています。なかなか練習の時間がとれませんが、昼休みを活用したり、個々にCDを持ち帰ったりして、練習に励んでいます。皆さんが楽しめるような曲目を考え、振り付けを工夫して本番に臨んだ結果、たくさんの方に喜んでいただくことができました。



大勢の前で合唱を披露しました

いいところ、知っとこ、おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



稲瀬地区

拠点 稲瀬地区センター（江刺稲瀬字谷地16-1 ☎ 35-4073）

稲瀬地区は江刺地域の西北部に位置し、北は北上市、西は北上川を挟んで金ヶ崎町に接しています。当地区では、米やリンゴの先駆的農業に取り組んでいます。また、鹿踊りや神楽などの民俗芸能のほか、安倍氏の拠点であった鶴脛柵や県内最大級の窯跡である瀬谷子遺跡など歴史的価値の高いものが多く残されており、その歴史と風土を生かした地域づくりを推進しています。稲瀬振興会では、地域の少子高齢化や人口減少が進んでいることから、地域の元気を呼び起こそうと、青年部主催の「いなせ夏まつり」を開催

しています。また、地域の足を守るための「稲瀬ふれあいタクシー」の試験運行や、地域農業を守り育てるために「稲瀬農業の未来を考える会」を設立するなど、地域課題の解決に向けた取り組みを行っています。

いなせ夏まつり



子どもたちに人気の流しそうめん

とすけもの、おもちゃ・ヨーヨー釣り、大声大会など楽しい催しが目白押し。豪華な賞品が当たる大抽選会は大人気でした。体育部主催のニュースポーツ大会、25歳・42歳年祝連の演舞のほか、消防団第20分団によるポンプ操法の実演、火点倒し、子どもたちの消防車乗車体験など、消防団員との交流も行いました。帰省している人や地区外からの人にも多く参加してもらい、最後は花火の打ち上げで、いなせ夏まつりを締めくくりました。



地域の足を守る「稲瀬ふれあいタクシー」

稲瀬ふれあいタクシー 市では、稲瀬地区の交通空白地における地域住民の移動手段を確保するため、予約型タクシー「稲瀬ふれあいタクシー」を昨年4月から試験運行しています。当地区と岩谷堂市街地間を1日3往復、週3日の運行で、料金は1回500円です。利用するためには事前登録が必要で、現在の登録者数は59人、1日当たりの利用者数は2人弱となっています。事前登録者へのアンケートや利用者への直接聞き取りなどを行い、利用しやすい環境の把握に努めています。利用者を増やしていくため、



世代を超えたメンバーが稲瀬の農業を考えます

今年4月以降の試験運行の見直しに反映させていきます。稲瀬農業の未来を考える会 稲瀬振興会では、稲瀬コミュニティ計画に掲げる「地元の資源を生かした地域づくり」を推進するため、令和3年に江刺金札米が誕生して百年を迎えるこの機会を捉え、昨年11月に「稲瀬農業の未来を考える会」を設立しました。地区内在住の22人と市地域おこし協力隊1人を委員に委嘱。今後、定期的に会議を重ね、①将来の江刺農業の構想②江刺金札米百周年記念事業③地元の資源を生かした新商品開発を柱に取り組んでいきます。

[Vol.113] ひとり親家庭のための手当・支援事業を紹介します

■児童扶養手当

ひとり親家庭の生活の安定と児童の健全育成のための手当を支給する制度です。離婚などによりひとり親の家庭や、父親または母親が重度障がい者の家庭などで児童を養育している人に、その児童が18歳に達する年度末まで支給されます(障がいのある児童は20歳に達する月まで)。

手当月額は前年の所得額に応じて決定されます。前年の所得額が一定額を超えるときは支給されません。

令和元年度の手当月額は、児童1人の場合最大月額42,910円、2人の場合は児童1人の金額に最大月額10,140円を加算した額、3人からは児童2人の金額に1人につき最大月額6,080円を加算した額です。

■母子・父子・寡婦福祉資金

母子・父子・寡婦家庭の生活の安定と経済的な援助のために、各種の資金を無利子または低利で貸し付ける制度があります。

■母子家庭等高等職業訓練促進給付金支給事業

母子家庭の母や父子家庭の父が、就業に向けた資格(看護師、介護福祉士など)取得のために養成機関において1年以上修業した場合に給付金を支給します。

最大4年間、月額70,500円(市民税非課税世帯は100,000円)を支給します。※他の制度で同様の給付を受けることができない場合に限る

■母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業

母子家庭の母や父子家庭の父が、就業に結びつく可能性の高い講座を受講した場合、講座修了後にその受講料の一部を支給します。※必ず受講前にご相談ください

ひとり親家庭が安心して子育てができるよう各種支援を行っています。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ

本庁子ども・家庭課家庭福祉係(☎34-1585)

KID'S アルバム

~子育て支援センターの活動を紹介します~

♣毎月1回イベントを実施しています。保健師などによる育児の参考になるお話や、季節のイベント、手作り制作などさまざまな内容で企画しています。事前の申し込みは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。(メイプル地階)



① だるまさんの絵本、みんなで集中して聞いています



② みんな大好き「魚釣り」、たくさん釣れたよ!

エンゼルプラザみずさわ子育て支援センター (子育て総合支援センター ☎24-6405)

♣大人気の季節の親子制作では、ひな祭りに向けて親子でおひなさま作りをしました。親子で協力して可愛らしく作れました。



←おうしゅう子育てガイド
医療機関、おでかけマップなど、子育てに役立つ情報を掲載しています

広告

もっと安心 ずっとおうしゅう

~みんなの輪で支える在宅医療と介護~



第24回 地域医療を守る 一賢い患者になるために / 奥州保健所

昨年末に中国で発生し、世界中へ広がっている新型コロナウイルス感染症は、感染率は高いのですが致死率は低く、インフルエンザと同様の手洗い・咳エチケット対策をしっかりと実施すれば一般の健康な人への被害は少ないものであることが分かっています。しかし、高齢者や持病のある人などは重症化することが危惧されています。「弱者を守る」これが医療の本質です。感染症を含め多くの疾患は自然治癒力により軽快しますが、体力・免疫の落ちている人にとっては重大な結果を招きます。

医療資源には限りがあります。風邪などの軽症者が基幹病院に殺到し地域医療が崩壊! という事態にならないよう、本当に必要な人が病院や救急車を

利用できるように、慌てて受診することなく皆さんで地域医療を守っていきましょう。

2月17日、新型コロナウイルスについて厚生労働省から次の症状がある人は相談するよう指針が出されました。

- ①風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている(高齢者や合併症があれば2日以上)
- ②強いだるさや息苦しさがある

不安な場合は遠慮なく保健所にご相談ください。InstagramやTwitterでも新しい有用な情報を発信しています。

奥州保健所(☎22-2831)



■問い合わせ=本庁地域包括ケア推進室(☎34-2906) ■高齢者に関する相談=市地域包括支援センター(☎34-2199)

はい、こちら

総合相談室

(☎34-2915、FAX 24-1991)

消費生活相談		前沢総合支所 市民福祉グループ	毎週	10:00 ~ 15:00
本庁総合相談室	9:00 ~ 17:00	胆沢総合支所 市民生活グループ	毎週	※前日までに要予約
江刺総合支所 市民生活グループ	9:00 ~ 15:45	衣川総合支所 市民福祉グループ	毎週	

賃貸住宅の原状回復費用の負担をめぐるトラブル



Q. 息子が4年間入居した賃貸アパートを先月退去しました。敷金9万円を預けていたのですが、後日、原状回復費用として13万円かかり、敷金を差し引いた4万円の請求書が届きました。息子は傷をつけたり壊したりしていませんと言っていますが、払わないといけないのでしょうか。

A. 賃貸住宅を退去する際には、借主は借りている部屋を「原状回復」して明け渡す義務を負っています。この原状回復とは入居時の状態に戻すという意味ではありません。家具の設置跡などの通常損耗や畳、クロスなど月日が経ち自然に変色した部

分の補修費用は貸主負担となります。喫煙による汚れ、子どもの落書きなど借主の不注意により生じた損耗は借主の負担になります。請求書の内容をよく確認し、納得のいかない点があれば貸主にその旨を伝え説明をしてもらいましょう。国土交通省の定める「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」は賃借人の原状回復の考え方を示しています。

退去時のトラブルを防ぐためには、入居前に部屋に汚れや傷がないか記録しておくことが大切です。貸主との話し合いで解決できない場合は、市役所で行っている無料法律相談をご利用ください。



広告



お知らせ


プレミアム商品券の使用は3月末まで

奥州市プレミアム付商品券の使用期限は3月31日(日)です。期限後は商品券の使用、払い戻しができませんのでご注意ください。
■問い合わせ 市プレミアム付商品券事務局 (☎ 30-9110)

収入証紙の買い戻しは3月末まで

未使用の奥州市収入証紙の買い戻しを行っています。期限を過ぎると買い戻しができなくなりますので、今一度ご確認ください。期限までに申請してください。
■申請方法 申請先にある申請書(市ホームページからのダウンロード可)に必要事項を記入して提出

■申請期限 3月31日(日)
■注意事項 市収入証紙と県収入証紙・収入印紙は異なるものですのでご注意ください。また、消印のあるもの、著しい汚れや破損しているものは買い戻しできない場合があります。

■問い合わせ・申請先 本庁会計課 (☎ 34-2347) 
 市ホームページ▲

福祉乗車券を交付

障がいのある人を対象とした福祉乗車券の交付を4月1日(日)から開始します。

■種類 ▶小型タクシー(バス)乗車券▶リフトタクシー乗車券(利用条件あり)

■対象 次のいずれかの交付を受けている人 ①身体障害者手帳1級および2級 ②下肢障がい3級 ③療育手帳A ④精神障害者保健福祉手帳 ※2年度に自動車税、軽自動車税の減免を受ける人、施設の入所者は除く

■持ち物 障害者手帳、印鑑(認印可。スタンプ式は不可)

■問い合わせ・申請先 本庁福祉課障がい福祉係 (☎ 34-2325)、各総合支所福祉担当グループ

2年度中の出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届け出

2年度は国勢調査が行われます。この年度内に出生・死亡・死産の届け出と、婚姻・離婚の届け出をされる人は、届け出書に「職業の記入(死亡届のみ併せて産業の記入)」をお願いしています。

窓口に職業・産業例示表を備えていますので、参考の上、記入をお願いします。

■問い合わせ 本庁市民課戸籍係 (☎ 34-2913)

大規模盛土造成地マップを公表

市は、国土交通省が宅地耐震化推進事業に基づき作成した「奥州市大規模盛土造成地マップ」を公表します。マップは市ホームページや問い合わせ先窓口にてご覧ください。

■問い合わせ 本庁都市計画課計画係(江刺総合支所・☎ 34-1661)

市ホームページ▶



「前沢温泉舞鶴の湯」臨時休館のお知らせ

前沢温泉が4月から指定管理による運営に変わるため、3月30日(日)から4月3日(木)まで、臨時休館となります。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。また、指定管理制度移行に伴い、夜間回数券の使用は3月29日(土)までとなりますのでご了承ください。1日券、3時間券は、4月以降も利用できます。


■問い合わせ 前沢温泉舞鶴の湯 (☎ 56-6048)

新幹線走行試験を実施

JR東日本では、新幹線試験電車を使用して走行試験(仙台～新青森間ほか)を実施します。ご理解をお願いします。詳しい日程は市ホームページに掲載しています。

■実施期間 3月23日(日)～7月21日(日)(実施日は主に火土)

■時間帯 午後11時ごろ～午前5時ごろ

■問い合わせ JR東日本盛岡支社企画室 (☎ 019-625-4019) 
 市ホームページ▶

国道4号 水沢東バイパスが部分開通します

国土交通省が事業を進めている国道4号水沢東バイパス(延長9.6km)のうち、「水沢姉体町～水沢東中通り二丁目」間(延長2.3km)が部分開通します。

■開通日時 3月21日(日)午後3時半



■問い合わせ 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 (☎ 019-624-3131)

固定資産税に関する縦覧や閲覧

2年度固定資産税に関する帳簿・台帳の縦覧・閲覧を実施します。

■問い合わせ 本庁税務課土地係 (☎ 34-2375)、家屋係 (☎ 34-2376)

項目	縦覧	閲覧
期間	4月1日(日)～30日(日) ※土日祝を除く	通年 ※土日祝と年末年始(12月29日～1月3日)を除く
時間	午前8時半～午後5時15分	
場所	本庁税務課	本庁税務課・各総合支所納税担当グループ
対象	土地価格等縦覧帳簿・家屋価格等縦覧帳簿	固定資産課税台帳(名寄帳)
縦覧・閲覧ができる人	①固定資産税の納税者 ②上記①の代理人 ③納税管理人	①固定資産税の納税義務者 ②借地人、借家人 ③固定資産を処分する権利がある人 ④上記①～③の代理人
必要なもの	○本人確認ができるもの 顔写真付きのものは1点(運転免許証など) 顔写真がないものは2点(健康保険証、年金手帳など) ○代理人はそれを証明する書面(委任状など) ○納税管理人は前年度の納税通知書、課税明細書	○本人確認ができるもの 顔写真付きのものは1点または顔写真がないもの2点 ○借地・借家人は賃貸借契約書または賃借料の領収書など ○固定資産を処分する権利がある人は、それを証明する書面 ○代理人はそれを証明する書面
手数料	無料	有料 ※4月1日(日)～30日(日)は無料

広告

広告

催し・募集

前沢春まつりストリートフェスティバル出演者を募集

前沢春まつりをパフォーマンスで盛り上げていただく人を募集します。

- 出演日時** 4月19日(日)午前10時～午後4時(山車の通過しない時間帯で、出演時間は1回10分程度)
- 出演場所** 前沢字七日町、三日町
- 申込料・出演料** なし
- 申込期限** 3月31日(日)
- 問い合わせ・申込先** (一社)市観光物産協会前沢支部 (☎ 56-2105)



にっぽん縦断 ところ旅 お手紙を募集

NHK-BSプレミアムで放送予定の「にっぽん縦断 ところ旅 (2020 春の旅)」が、3月30日に三重県をスタート。愛知、静岡、神奈川から千葉に渡り茨城、福島、宮城、岩手、青森と太平洋側を北上し夏の北海道を目指します。

番組では、みなさんからのお手紙で旅のルートを決定するため、市内の「忘れられない場所、風景」にまつわる手紙を募集しています(岩手県内は2週に渡り旅をします)。

- 岩手県の放送予定** ①6月8日(日)～12日(金) ②6月15日(日)～19日(金)
- 応募期限** 4月20日(日)(必着)
- 応募方法** 住所、氏名、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、風景にまつわるエピソードをファクスまたは郵送(番組ホームページからも応募可)
- 応募先** NHK「こころ旅」係 (☎ 03-3465-1327、〒150-8001 ※住所記載不要)
- 問い合わせ** NHKふれあいセンター(☎ 0570-066-066 または ☎ 050-3786-5000)



番組ホームページ



金婚を祝う会(水沢・江刺)の参加者を募集します

結婚50年を迎える夫婦の金婚と長寿を祝う「金婚を祝う会」の参加者を募集します。長年連れ

添ったお二人の思い出を振り返りながら、あらためてお互いを感じ謝する日にしてみませんか。

- 水沢**
 - 日時** 6月2日(日)午前11時～午後1時
 - 場所** プラザイン水沢
 - 申込期限** 5月1日(日)
 - 問い合わせ・申込先** 市社会福祉協議会水沢支所 (☎ 25-6025)
- 江刺**
 - 日時** 6月5日(日)午前11時～午後1時半
 - 場所** ホテルニュー江刺新館 イーズ
 - 申込期限** 5月8日(日)
 - 問い合わせ・申込先** 市社会福祉協議会江刺支所 (☎ 35-8081)
- 共通**
 - 対象** 昭和45年4月1日～46年3月31日の間に結婚し、該当する地域に在住の夫婦※既に結婚後50年を経過し、過去に参加していない夫婦も可
 - 会費** 1人5,000円
 - 申し込み方法** 申込先、民生児童委員または地区センターから入手する申込書を提出



いちサポ 1分間スピーチセミナー

面接で役立つスピーチのコツを学び、実際に練習します。

- 日時** 3月26日(日)午後1時半～3時半
- 場所** なのはなプラザ(一関市)
- 対象** 39歳以下の求職者、通信制・定時制の生徒(いちサポへの登録が必要)
- 定員・参加料** 10人・無料
- 申込期限** 3月25日(日)
- 問い合わせ・申込先** いちのせき若者サポートステーション(☎ 01-91-48-4467)



インターハイ・クラウドファンディングはネクストゴールを目指しています!

8月に開催される全国高等学校総合体育大会卓球競技大会(インターハイ)に向け、2月3日から3月31日までの期間で実施しているクラウドファンディングプロジェクト「2020 インターハイ卓球!ベストを発揮できる大会を作りたい!」は、開始から19日目に第一目標としていた100万円を達成することができました。ご支援いただいた皆さまには、心より感謝を申し上げます。

実行委員会では、インターハイに参加する高校生や来場者にとってよりよい大会となるよう200万円を次の目標に設定しました。引き続き皆さんの温かいご支援をお願いいたします。

クラウドファンディングでの支援はこちらから▶



- 全国高等学校総合体育大会卓球競技大会(インターハイ)
- 期間: 8月10日～15日(10日は開会式)
 - 場所: 市総合体育館(Zアリーナ)
 - 本庁インターハイ推進室(江刺総合支所・☎ 34-2499)

「稲瀬ふれあいタクシー」運行のお知らせ

昨年4月から運行している「稲瀬ふれあいタクシー」は、本年4月1日から9月30日まで半年間の試験運行を実施します。地区の要望を基に、運行時刻を改め、乗降場所を追加することでより便利な地区内交通を目指します。

- 運行区域** 稲瀬地区第2区から6区
- 運行日程** 月・火・金の1日3往復(祝、8月13日～15日は運休)
- 出発時刻** ▶岩谷堂方面発 午前8時45分、9時45分、10時45分 ▶十文字方面発 午前11時、11時45分、午後0時45分
- 運賃** 1乗車当たり500円



- 指定乗降場所** 江刺バスセンター、イオンタウン、江刺総合支所、県立江刺病院、サンエー、稲瀬地区内23カ所
- 利用方法** ①事前登録制(利用するためには事前登録が必要) ②利用する前日の午後4時までに「利用する便」と「指定乗降場所」を申込先に電話予約 ③予約内容に応じたルートを設定して利用者に指定乗降場所へのおおむねの到着時刻を連絡
- 利用登録・申込先** 稲瀬振興会(☎ 35-4073)
- 運行事業者** ㈱水岩タクシー岩谷堂営業所(☎ 35-2555)
- 問い合わせ** 本庁3階元気戦略室(☎ 34-2383)

広告

広告



1

1 北側上空から見た長者ヶ原廃寺跡。築地塀の中軸線を真つすぐ南に延ばすと、関山の頂上にぶつかる。長者ヶ原廃寺跡が寺院として機能していたころは、この山に「衣関」が置かれていた。本堂や南門に立つと真つ先に関山が目に入ったことだろう



2



3



2 真上から見た長者ヶ原廃寺跡。四角のうち、中央は本堂跡、左は塔跡と推定される建物跡、下は南門跡。周囲の点線は築地塀跡で、塀の外側には溝跡が巡っている

3 長者ヶ原廃寺跡から出土した11世紀初めごろの土器。長者ヶ原廃寺跡では遺物がほとんど出土しないが、まとめて穴に捨てられていた、これらの土器が偶然発見されたことにより、遺跡の年代が確定した

奥州遺産

—ときを越え
受け継がれるもの—

第114回

長者ヶ原廃寺跡

(国指定史跡)

Ⅱ 衣川田中西Ⅱ

長者ヶ原廃寺跡は、関山中尊寺から北に1きほどいった、田園風景が広がる場所にある。地元では、源義経を平泉へ連れてきた商人「金売吉次」の屋敷跡であると伝えられてきた。しかし昭和24年からの考古学的な調査により、築地塀と本堂、塔と推定される建物、南門を備えた10世紀後半から11世紀の寺院跡であることが明らかになっている。

一体どんな寺院だったのだろうか。寺院の中軸線は、中尊寺がある関山山頂に向かっており、造営当初から関山を意識して設計されたことがうかがえる。長者ヶ原廃寺跡が機能していた当時の関山には「衣関」という関所が置かれていたことから、長者ヶ原廃寺跡は「衣関」に係する寺院とも考えられる。

南北境界の地であった「衣関」の跡地には、後に藤原清衡が、浄土・平泉の基点として中尊寺を建立する。長者ヶ原廃寺跡は、中尊寺が関山に置かれた意味を今に語り継いでいるのかもしれない。

広告

●広告の問い合わせは、(株)東広社 (☎ 0197-64-1523)